



第73期中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日



証券コード6282

OILES オイルス工業株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、格別のご高配にあずかり、厚く御礼申しあげます。

さて、当社第73期第2四半期（2023年4月1日～2023年9月30日）の営業概況につきましてご報告申しあげます。

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和により回復の動きがみられる一方、長期化するウクライナ情勢や欧米経済の金融引き締め、中国の景気減速などにより先行き不透明な状況が続いております。

このような環境にあつて、当企業グループは2021年度を起点とする中期経営計画（2021年度～2023年度）の最終年にあり、グループ一丸となつて計画達成に向けた取り組みを進めております。当第2四半期連結累計期間の業績については次頁をご参照ください。

今後の見通しにつきまして、軸受機器事業の一般産業向けでは、成長市場である半導体製造装置や再生可能エネルギー分野に向けた製品開発、営業活動を一層強化し事業の拡大に努めてまいります。自動車向けでは自動車生産台数は一定の回復が期待でき、国内、海外向けともに堅調な需要の推移を見込んでおります。加えて、電気自動車、自動運転など新たな分野への製品、技術提案を一層強化してまいります。構造機器事業では橋梁向けでは耐震補強関連の増加を見込んでおり、建築向けでは引き続きロジスティクスセンター向けの需要が堅調に推移すると見込んでおります。建築機器事業においては引き続き新築建物向け製品は底堅く推移すると見込んでおります。これら見通しのもと施策を確実に実行していくとともに、将来の成長を目標とした設備投資や研究開発投資、人材育成投資を積極的におこなっていく予定です。

以上から、2024年3月期の当企業グループ全体の業績予想は、売上高は67,500百万円、営業利益は6,100百万円、経常利益は6,350百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は4,300百万円を予想しております。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。



代表取締役社長 飯田昌弥

社是

われわれはオイレスの名のもとにあつまった。世界に通ずるOILESで、ともに成長しよう。

O nward	日々前進を	…………	昨日よりも今日、今日よりも明日、と力強く前進しよう。
I dea	創意と工夫を	…………	絶えず創意を生み、研究と努力を重ね、開拓者精神に生きよう。
L iberty and Law	自由と秩序を	…………	人格を尊重し、個性と能力を生かしあつて秩序正しい職場を築こう。
E xpert	みんな専門家に	…………	一人ひとり専門家に、会社は専門メーカーに徹しよう。
S ervice	社会に奉仕を	…………	つねに真心こめて仕事にあたり、社会に奉仕しよう。



連結業績ハイライト

売上高

31,228 百万円

前年
同期比

+9.1%

営業利益

2,610 百万円

前年
同期比

+53.3%

経常利益

2,984 百万円

前年
同期比

+37.2%

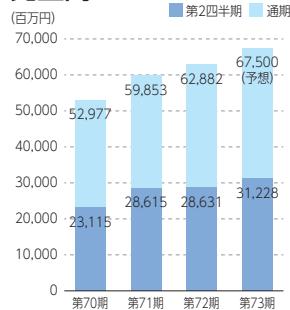
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益

2,057 百万円

前年
同期比

+90.9%

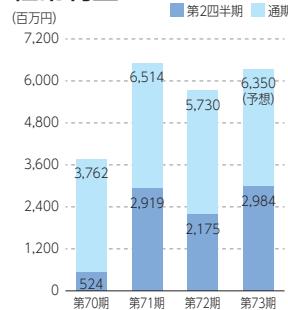
売上高



営業利益



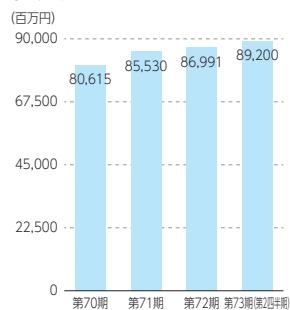
経常利益



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



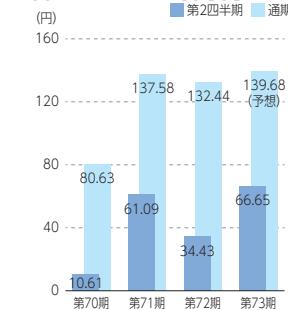
総資産



純資産



1株当たり当期純利益



1株当たり純資産



連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別 前期末 2023年3月31日	当第2四半期末 2023年9月30日
①流動資産	54,772	56,690
有形固定資産	22,805	22,556
無形固定資産	344	349
投資その他の資産	9,068	9,604
固定資産合計	32,218	32,510
資産合計	86,991	89,200
流動負債	12,610	13,291
固定負債	4,791	4,157
負債合計	17,401	17,448
②純資産合計	69,589	71,752
負債純資産合計	86,991	89,200

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	期別 前第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	当第2四半期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,025	3,121
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,461	▲28
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲2,624	▲2,602
現金及び現金同等物に係る換算差額	843	616
現金及び現金同等物の増減額(▲は減少)	783	1,107
現金及び現金同等物の期首残高	20,337	22,597
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,121	23,705

配当金について

第73期中間配当金は以下のとおりです。

配当金額 1株あたり **35**円

効力発生日ならびに 2023年**12月4日**（月）

支払開始日

連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別 前第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	当第2四半期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
③売上高	28,631	31,228
売上総利益	8,989	10,122
販売費及び一般管理費	7,287	7,512
営業利益	1,702	2,610
経常利益	2,175	2,984
税金等調整前四半期純利益	2,004	3,154
法人税等	890	1,063
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,077	2,057

POINT① 仕掛品（流動資産）

構造機器セグメントにおいて、物流倉庫や高速道路4車線化需要の増加、耐震補強工事（既存橋梁）の増加に伴い残高が増加いたしました。

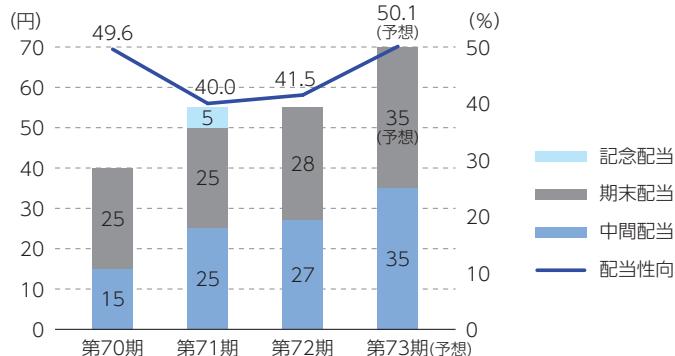
POINT② 自己株式（純資産）

自己株式の取得及び消却をおこないました。

POINT③ 売上高

中国経済の減速による需要低迷のなか、一般軸受機器セグメントでは、再生可能エネルギー向け軸受が堅調に推移して前年同期並みの売上を確保し、自動車軸受機器セグメントは、中国の自動車減産の影響を受けたものの、国内及び北米、欧州の生産は堅調に推移し、売上が増加いたしました。構造機器セグメントは、建築向けについては都市再開発物件の工期遅延の影響を受けたものの、橋梁向けについては計画していた高速道路向けの大規模物件が複数件完工し、売上が増加いたしました。

（ご参考）配当金の推移



セグメント別業績ハイライト

一般軸受機器

売上高 **7,063** 百万円
前年同期比 +0.7%

セグメント利益 **514** 百万円
前年同期比 ▲3.4%

Point



中国経済の減速による需要低迷が売上、利益とも押し下げ要因となるなか、再生可能エネルギー向け軸受が堅調に推移し、前年同期並みの売上を確保することができました。セグメント利益は新規案件に係る研究開発費の増加があり、前年同期を下回りました。

自動車軸受機器

売上高 **15,345** 百万円
前年同期比 +11.5%

セグメント利益 **889** 百万円
前年同期比 +51.0%

Point

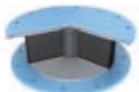


中国の自動車減産の影響により中国向け売上が低調であったものの、国内及び北米、欧州の生産は堅調に推移し、前年同期を上回る売上、利益となりました。

セグメント別
売上高構成比



構造機器



売上高 **5,087** 百万円
前年同期比 +18.1%

セグメント利益 **1,039** 百万円
前年同期比 +136.7%

Point



建築向け製品は、都市再開発物件の工期遅延の影響を受け前年同期を下回る売上となったものの、橋梁向け製品は、計画していた高速道路向けの大型物件が複数件完工し、セグメント全体の売上、利益を押し上げました。

建築機器

(オイレスECO(株))



売上高 **2,834** 百万円
前年同期比 +2.8%

セグメント利益 **121** 百万円
前年同期比 +7.8%

Point



ビル向け製品及び住宅用製品ともに順調に推移し前年同期を上回る売上となりました。また前年同期と比較して販売管理費が削減できたことによりセグメント利益も前年同期を上回りました。



東京本社移転のお知らせ

2023年12月11日をもって、東京本社が以下に移転いたします。

東京都品川区北品川6-7-29 ガーデンシティ品川御殿山4階

※本社機能を有する拠点及び登記上の本店は「藤沢本社（神奈川県藤沢市桐原町8番地）」から変更ございません。



くるみん認定を取得いたしました

当社は2023年6月5日付で「くるみん認定」を取得いたしました。

くるみん認定は、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、行動計画に定めた目標を達成する等の一定の要件を満たした企業を「子育てサポート企業」として厚生労働大臣が認定する制度です。

当社の目標「男性の育児休業の取得推進」を達成するためにおこなっている、男性の育休前相談や両立支援研修の取り組みが評価され、認定につながりました。（2022年度の育児休業取得率は女性が前年に続き100%、男性が62.1%（前年比23.6%増）でした。）

今後も従業員が仕事と子育てを両立できるような環境づくりに向けて、サポートを推進してまいります。

その他の取り組みなどの詳細は10月に発行した当社の統合報告書をご覧ください。

https://www.oiles.co.jp/sustainability/integrated_report/



#500SPRが発明奨励賞を受賞しました

公益社団法人発明協会が主催する「令和5年度関東地方発明表彰」において、当社の軸受製品「#500SPR（高硬度特殊銅合金系固体潤滑剤埋込軸受）」が発明奨励賞を受賞いたしました。本製品は当社の研究開発活動を通じ、「摺動部材用高力黄銅合金および摺動部材」として特許を取得しています（特許番号：5342882号）。このように、当社は材料の開発から、研究開発を通じて創出した独自の軸受材料の生産・販売までを一貫しておこなっております。今後も更なる製品の性能向上やお客様の技術要件を満たすため、長年の研究開発で培った「摩擦」「摩耗」「潤滑」にかかわるトライボロジー技術を活かし、軸受の低摩擦化・長寿命化や環境負荷の低減など、お客様のニーズや社会課題に向き合っています。



開発ウラ話

軸受の性能に求められる「耐摩耗性」の性能向上を目指すため、金属系軸受の高強度化を図り製品化を進めてきました。一方で、軸受が使用される産業機械装置の進歩とともに「耐衝撃性」の性能が求められるようになりました。これは、単に強度を高めるだけでは荷重衝撃に耐えられず軸受が破損してしまうという課題が生じたためです。耐摩耗性だけでなく、耐衝撃性の両方を実現する製品として「#500SPR」が開発されました。

開発の過程では、耐衝撃性を向上させるために母相金属組織に着目して検討を進め、高力黄銅合金の母相組織を制御しながら硬質粒子を微細分散させることで従来の最高許容面圧（耐荷重性能）を上回る軸受材料を開発し、耐摩耗性の向上を果たすだけでなく、耐衝撃性の向上も実現することができました。本製品によって、強度性能と柔軟性に加えて軸受を小型化できるという利点も備わり、産業機械装置の小型化・省スペース化といった側面でも寄与しております。

▼射出成形機

主な採用箇所

主に射出成形機に採用されており、多いものだと射出成形機1台あたり10個以上の当社製品が使用されております。射出成形機は、プラスチックなどの材料を高圧で射出し、型に注入して製品を成形する装置です。例えば、自動車部品、プラモデルの小さなパーツやペットボトルなど、私たちの日常生活に欠かせないものを成形する産業機械装置の要素部品として、当社の製品が活躍しております。



地方発明表彰とは？

各地方における発明の奨励・育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的として大正10年に開始されたものです。

全国を8地方に分け、各地方において優秀な発明等の完成・実施化、発明等の指導・育成・奨励への貢献に対する功績を称え顕彰されます。



日本一の高さを誇る麻布台ヒルズに制震壁が採用されました



©DBOX for Mori Building Co., Ltd. - Azabudai Hills

2023年11月24日に開業した「麻布台ヒルズ」。都心の新たなランドマークに当社の制震壁が302基採用されました。

オフィス・住宅・ホテル・インターナショナルスクール・商業施設・文化施設など、多様な都市機能を高度に融合させたプロジェクト。その中でも、64階建ての麻布台ヒルズ森JPタワーは、高さ約330mで**日本一高いビル**となりました。

当社制震壁は小さな揺れや激しい揺れなど様々な振動に対して効果を発揮します。建物は高層階にいくほど揺れが大きくなる傾向にあり、制震壁を設置することで地震時の大きな揺れに対する安全性を向上させます。また、風などの小さな揺れに対する居住性向上にも貢献しました。この他にも、スリムな形状による意匠的メリットや、耐久性に優れメンテナンスフリーである点も評価されております。

今後も当社の免震・制震装置で利用者の方々へ安心と安全をお届けいたします。

【VWDの特徴】

VWD (Viscous Wall Damper) は高粘度の粘性体の粘性せん断抵抗力を利用した制震装置です。

壁型スリムデザイン

制震壁はスリムな壁型のため壁内に無理なく設置できます。

1

幅広い振動減衰効果

風などの揺れから、大地震の激しい揺れまで様々な揺れに対する振動減衰効果が得られます。

2

幅広い設計範囲

建物の規模や制震性能に応じて、装置の特性を自由に設計できます。

3

優れた耐久性

粘性体は、耐久性が高く経年変化を起こさないため、メンテナンスの必要がありません。

4

当社ウェブサイトにて、制震壁のCG動画を掲載していますので是非ご覧ください。
https://www.oiles.co.jp/products/damping_isolation/building/vibration_control/seishin/

◀VWD



川崎市役所本庁舎にウィンドウオペレーター®とエコサプリ®が採用されました



市民や企業の環境配慮実施のモデルとなることを目指して2023年6月に竣工した川崎市役所本庁舎は、環境にやさしい庁舎として数々の自然の力を有効に活用する工夫とBCP対策が強化された先進的な建築物です。この建物は特徴的な「エコマルチウォール」と呼ばれる給排気ボイド外装システムにより、効率的で積極的な自然換気をおこないますが、給気側に小型自然換気装置「エコサプリ®」、また、暖まった空気が集約して排出される排気側（屋上）に換気排煙窓用開閉装置「ウィンドウオペレーター®」が採用されています。

また、本庁舎の前面には1938年（昭和13年）に竣工した旧本庁舎の一部が創建当時のままに復元されており、ここにも多数の換気排煙窓用開閉装置「ウィンドウオペレーター®」が採用されています。

今、「自然換気」は環境配慮建築に欠かせないものとなりつつあります。オイレスECOは製品を通じて今後ますます積極的な自然エネルギーの利用を推進していきます。



Memo

本物件には構造機器部門の免制震製品「LRB」「RB」も採用されています。



会社の概要 / 株式の状況 (2023年9月30日現在)

会社の概要

商号	オイルス工業株式会社 OILES CORPORATION
設立	1952年(昭和27年)3月11日
立本	85億8,500万円
資本金	神奈川県藤沢市桐原町8番地
従業員数	連結2,054名(487名) 単体804名(293名) *パート/嘱託社員は()内に当期間の平均人員を外数で記載
事業内容	オイルレスベアリング、免震・制震装置、支承、その他 の製造販売をおこなっております。 なお、建築機器(ウィンドウオペレーター、環境機器、 住宅用機器等)につきましては、当社子会社のオイルス ECO株式会社で事業をおこなっております。 8社(国内)、8社(海外)
連結子会社	

株式の状況

発行可能株式総数	153,200,000株
発行済株式の総数	33,300,505株
総株主数	14,471名

大株主(上位10位・自己株式除く)

株主名	持株数
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,149千株
東京中小企業投資育成株式会社	2,966千株
株式会社みずほ銀行	1,200千株
日本生命保険相互会社	969千株
川崎景介	829千株
オイルス東日本共栄会	796千株
川崎景太	721千株
オイルス従業員持株会	709千株
SMB C日興証券株式会社	631千株
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	630千株

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当をおこなう場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場(証券コード6282)
単元株式数	100株

株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
公告方法	電子公告(https://www.oiles.co.jp) 但し、電子公告による公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載しておこないます。

【株式事務のお問い合わせ先】

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取方法の変更及びマイナンバーのお届け等のお問い合わせ	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 ウェブサイト(https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html) フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせください。	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続きをおこなっていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続きに関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主様は、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いいたします。	

役員

【取締役】	代表取締役社長 飯田 昌弥	【執行役員】	社長執行役員 飯田 昌弥
取締役 田邊 和治	取締役 宮崎 聡	執行役員 坂入 良和	執行役員 山元 和宏
取締役 坂入 良和	取締役 大村 康二 ※	執行役員 奥津 清文	執行役員 米山 操
取締役 宮川 理加 ※		執行役員 関根 敏彦	執行役員 尾崎 光
		執行役員 増田 耕一	

【監査役】

常勤監査役	溝口 勝広
常勤監査役	須田 博
監査役	前田 達宏 ※
監査役	榊原 健郎 ※

最新情報は当社ウェブサイトをご参照ください。

(※社外役員)

ウェブサイトのご案内



<https://www.oiles.co.jp>

※2023年4月の日本語サイトに続き、
2023年10月にグローバルサイトもリニューアルいたしました。



株式に関するご案内

■単元未満株式買取制度について

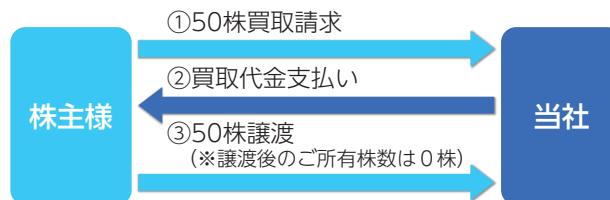
当社株式の証券市場での取引は100株（1単元）単位となっているため、単元未満株式（1～99株）は、市場で売ることができませんが、以下のお手続きによって市場価格で売却（現金化）することができます。

なお、当社は単元未満株式の買増制度は採用しておりません。

《買取請求に関するお問い合わせ先》

- 証券会社等の口座に記録された株式 → お取引の証券会社へ
- 特別口座に記録された株式 → 株主メモに記載のみずほ信託銀行証券代行部へ

（具体例：50株ご所有の場合）



■特別口座から証券会社等の口座への振替について

株券電子化に伴って、証券会社等を通じて証券保管振替機構に株券を預託されなかった株主様の株式は、株主様の権利を守るため、みずほ信託銀行に開設された特別口座に記録されています。

特別口座にて管理されている株式100株以上を市場で売却するには、下図のとおりお手続きが必要です。

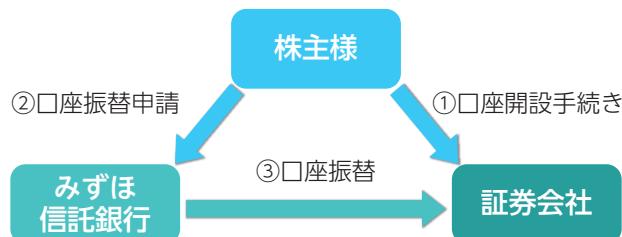
《特別口座の口座振替に関するお問い合わせ先》

みずほ信託銀行証券代行部

※詳細は**株主メモ**をご参照ください。

※特別口座とは、株券電子化（2009年1月5日）前に、証券保管振替機構に株券を預託されなかった株式を管理するために、当社がみずほ信託銀行に開設した口座です。

（具体例）



株主の皆さまの
声をお聞かせください

 **コエキク**

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

株主アンケートにご回答いただいた方の中から
抽選で**500円分**のギフト券を
プレゼント!

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」  koekiku@pronexus.co.jp

 **オイルス工業株式会社 公式キャラクター「オスビー」**
オスビーが当社の製品が使われた物の近くに隠れています。街中を探してみましょう!

 **ミックス**
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C013080

 **VEGETABLE
OIL INK**

**UD
FONT** 見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

A 風力発電 **B** 家電など **C** 自動車 **D** 病院 **E** 倉庫
F オフィスビル **G** タワー **H** 工場 **I** 観覧車 **J** 船舶



皆さまの身近のあらゆるところでオイルス
製品が活躍しています。

詳しくは当社ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.oiles.co.jp/corporate/case/>

F
7. 8ページを
Check!

H
6ページを
Check!

G

I

J